

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	台風第21号内水浸水検証準備会議
開催日時	平成30年 1月29日 (月) 14時00分 開会 ・ 15時30分 閉会
開催場所	川越市役所7階 7A会議室
出席者(委員)氏名 (人数)	別紙 出席者名簿の通り
欠席者(委員)氏名 (人数)	別紙 出席者名簿の通り
事務局職員 職 氏 名	別紙 出席者名簿の通り
会議次第	1 開会 2 台風第21号内水浸水検証準備会議について (1) 進行役の選出について (2) 会議の公開・非公開について 3 議題 (1) 内水浸水実態の把握 (2) 第2回の日程 (3) その他 4 閉会

議 事 の 経 過

1 開会

- ・建設部長挨拶
- ・出席者紹介
- ・事務局紹介

2 台風第21号内水浸水検証準備会議について

(1) 進行役の選出

→埼玉大学 田中教授を選出。

(2) 会議の公開・非公開について

- ・本日のデータは事務局が実態を収集しているところであり、今後、推計・調査・検討するにあたり未成熟な情報であることから、市民に誤解等を与えないよう多くの部分について非公開とすることが適当であるとの事務局の考えを示した。
 - ・自由で十分な意見を聞く場とするため、会議は非公開とすることが望ましいのではないかと意見があった。
 - ・市の情報公開条例による取扱いがよいのではないかと。ただし、公開できる情報は公開すべきだろう。また、どのような内容について議論されたかは公開すべきとの意見があった。
- これらの意見を受け、会議は非公開とすることで決定。ただし、この会議の内容はいずれは公表すべき内容であるため、整理した上で公表することとの意見が付された。
- (傍聴者・マスコミは退席。会議終了後、記者向けにブリーフィングを実施することを伝えた。)

3 議題

(1) 内水浸水実態の把握

- ・事務局から配布資料の内容を説明。

【台風第21号における降雨の状況について】

(主な意見)

- ・降雨に対して新河岸川の水位上昇が早い。10月21日より前の期間の降雨による影響があるのではないかと。
- ・10月19日ぐらいから1週間以上雨が続けていた記憶がある。1ヶ月程度の雨量データを取った方がいいのではないかと。

議 事 の 経 過

【内水浸水実態について】

(主な意見)

- ・痕跡調査であれば、ピーク水位はわかるが、時系列では分からないのではないか。このあたりのデータの整理方法を次回まででいいので整理しておくとうい。
- ・ポンプの影響や河道貯留の状況を把握するため、新河岸川本川の水位データを上下流とももっと広い範囲で取った方がいいのではないかな。
- ・江川の事業計画の降雨と当時の降雨を比較して整理する必要がある。江川都市下水路から水があふれたのか、それとも江川に流入している水路からあふれたのか、それとも新河岸川本川合流部の樋門を閉めたことにより水があふれたのか浸水被害のメカニズムを整理する必要がある。メカニズムが分からないと今後の対策にも活かさない。
- ・外水位が下がっても、江川から新河岸川への吐口が小さいため、内水位の変化にはタイムラグがあるだろう。
- ・複雑になるが可能であれば、下水道の解析も行った方がいい。
- ・図表を公表するのであれば前提条件をよく整理・検証しなければならない。
- ・土地利用の変遷に併せて流出量の変化も示した方がいい。

【その他事項】

(主な意見)

- ・グラフは各ページ統一して、単位も表示して作成してほしい。
- ・地盤高が分かるような資料があるとよい。

◎以上の意見を踏まえて、次回までに検討を進めることとなった。

(2) 次回の日程

- ・次回の会議は3月上旬の開催を考えている。日程調整については、今後行わせていただく。

(3) その他

- ・その他については、特に無し

4 閉会